

小泉構造改革と市場主義 に向けられた批判の誤解を解く

矢尾板俊平

「市場」とは何か？

- 個々人の利己的で、自由な行動の結果の集合によって、社会全体の厚生が決まる。
- 「個々人による利益の追求は、蓄積されて社会を相対的に改善する」(Yergin and Stanislaw)
Kay(2004)邦訳p.119
- 市場経済の強さ: 教訓を踏まえた多元主義 (disciplined pluralism)
 - 市場経済の永続的な実験プロセスであり、そこではほとんどの実験が失敗して排除され、成功したわずかの実験が速やかに模倣されることを意味する。

Kay(2004)邦訳p.7

市場の失敗

- 独占の問題
- 外部性の問題（例：フリーライド問題）
- 格差問題
- 情報の非対称性、不確実性（例：レモン市場、不完備契約、ホールドアップ問題）
- モラルハザード問題
- デッド・オーバーハング問題

市場の失敗を解決する手段

- 独占の問題
 - 独占禁止法の制定、競争促進、参入規制の緩和、サックコストの軽減
- 外部性の問題
 - 外部性の内部化
- 格差問題
 - インセンティブを減じないようなセーフティーネットの準備

市場の失敗を解決する手段

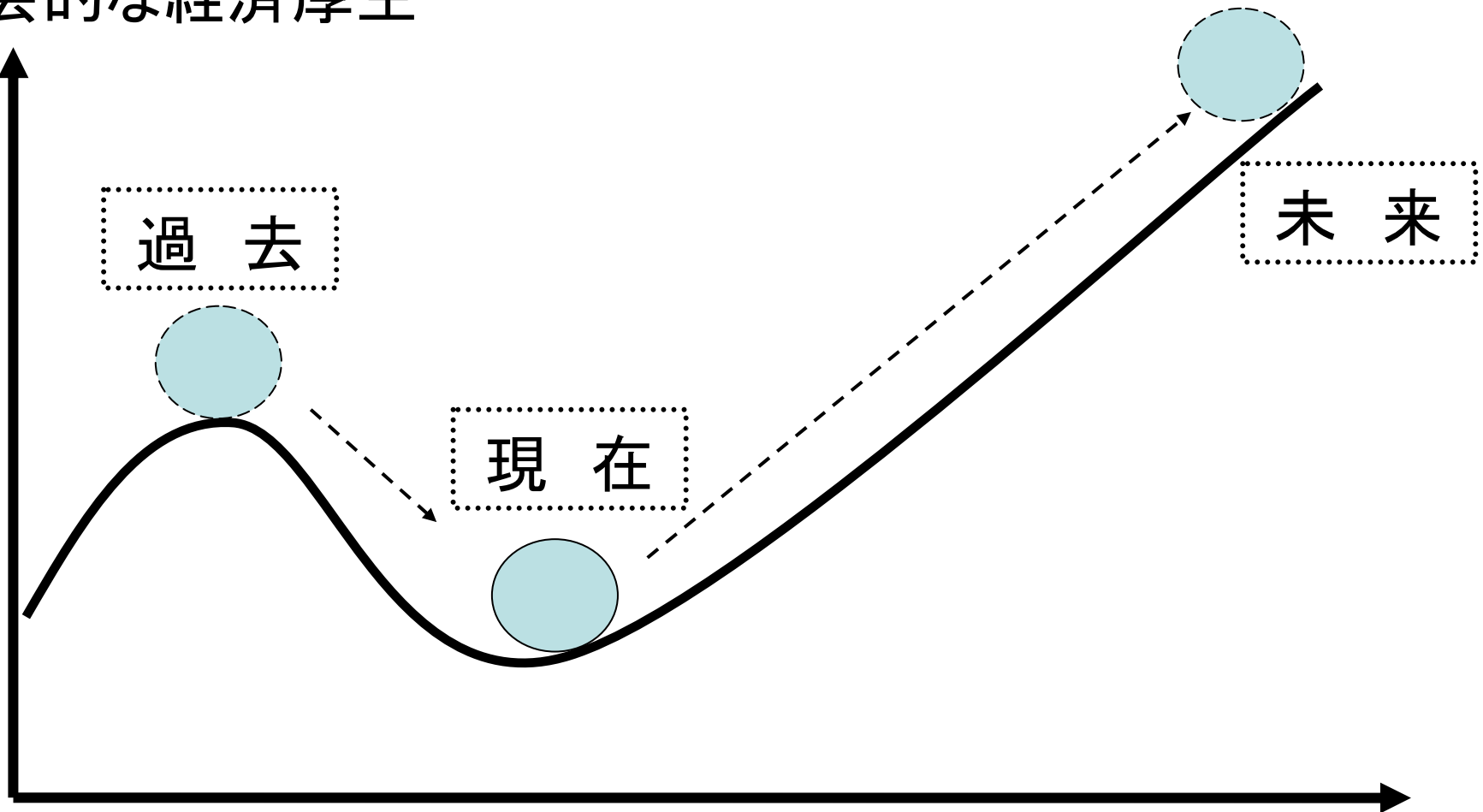
- 情報の非対称性、不確実性
 - 「契約主義」の活用、「保険」機能の活用、司法の活用。当事者交渉の対等な交渉力の保証・担保。
- モラルハザード問題
 - 法令遵守、CSR、内部統制などの企業統治基準の設定。モニタリング機能の活用。
- デット・オーバーハング問題
 - 市場からの退出の仕組み、市場における流動性の促進。M&A、倒産・再生法制、の充実。

公共的意思決定としての 経済政策が抱える問題

- レントシーキングによる経済的非効率性
- Rajan and Zingales (2003)の共謀問題
- なぜ、「市場は暴力的である」という誤解が生まれるのか。
- 政策の誤謬問題
- 少数派の保護

現在は、市場化の過渡期(移行期)

社会的な経済厚生



加藤・小林(2007)を参考に作成

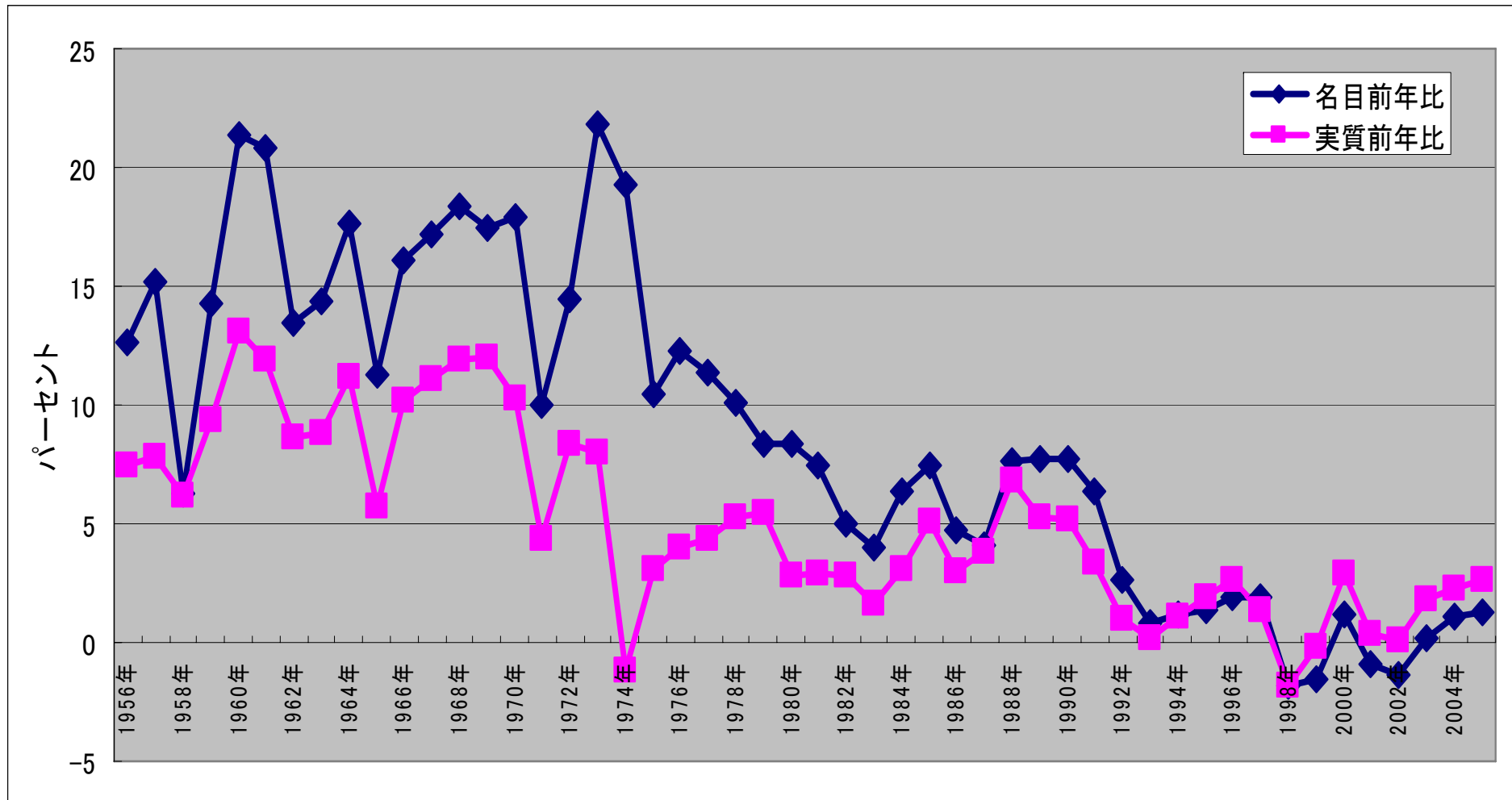
市場と共感

- 既得権者が既得権を自ら手放すような方法
 - 「説得」(チカラ、カネ、コトバ: 井上達夫)
- 既得権者から既得権を剥奪するような方法
- 人々の利己的な行動の中に、「共感」というファクターがあるのではないか？
 - A. Smithの「道徳感情論」
 - A. Senの「合理的な愚か者」
- 「自由」の限界と制度改革

小泉構造改革とは何か？

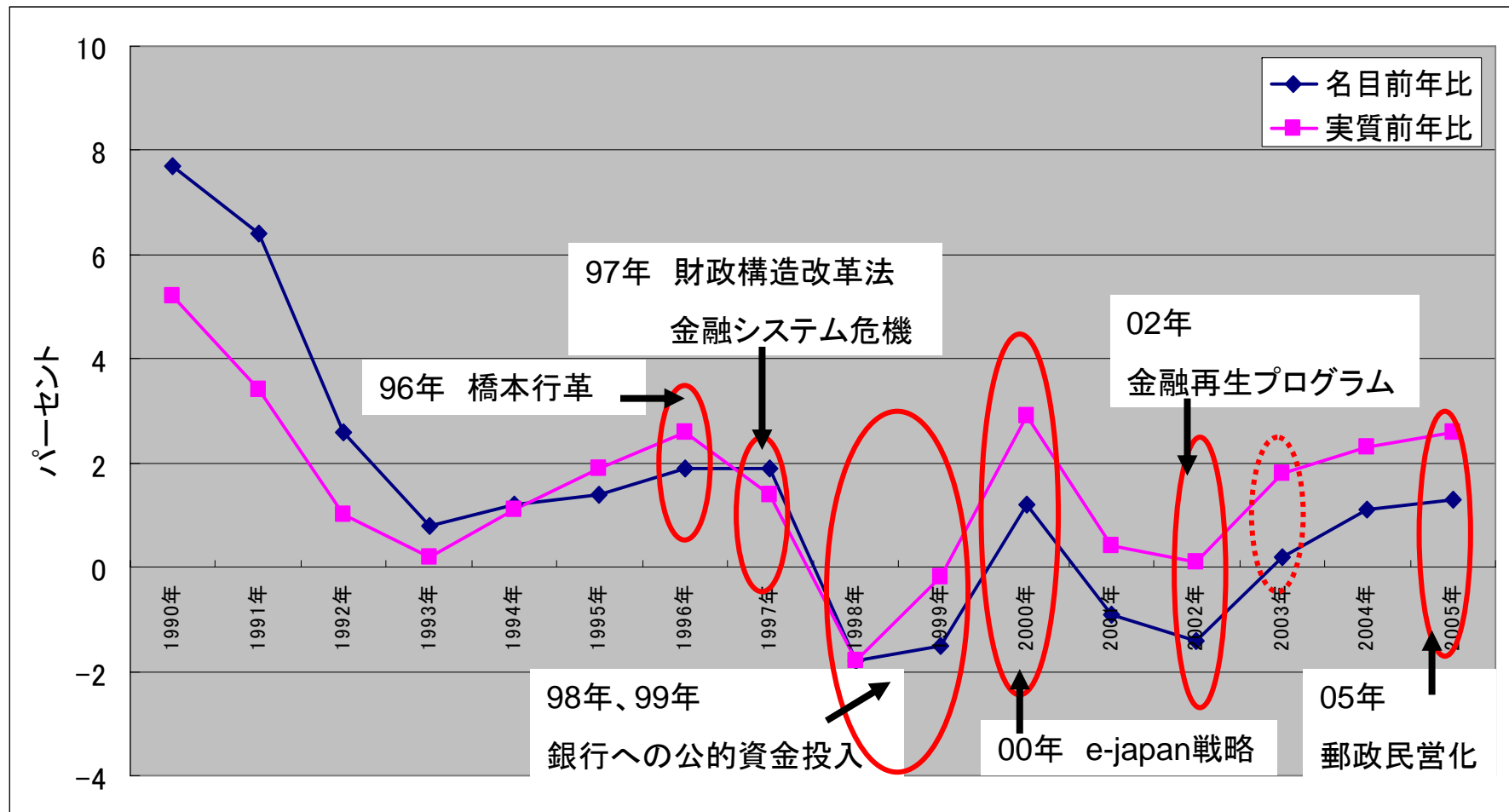
- 主な小泉構造改革のメニュー
 - 政策過程改革
 - 構造改革特区、地域再生
 - 道路公団民営化
 - 不良債権処理
 - 三位一体改革
 - 郵政民営化
 - ソフトなものづくり改革

高度成長から安定成長へ

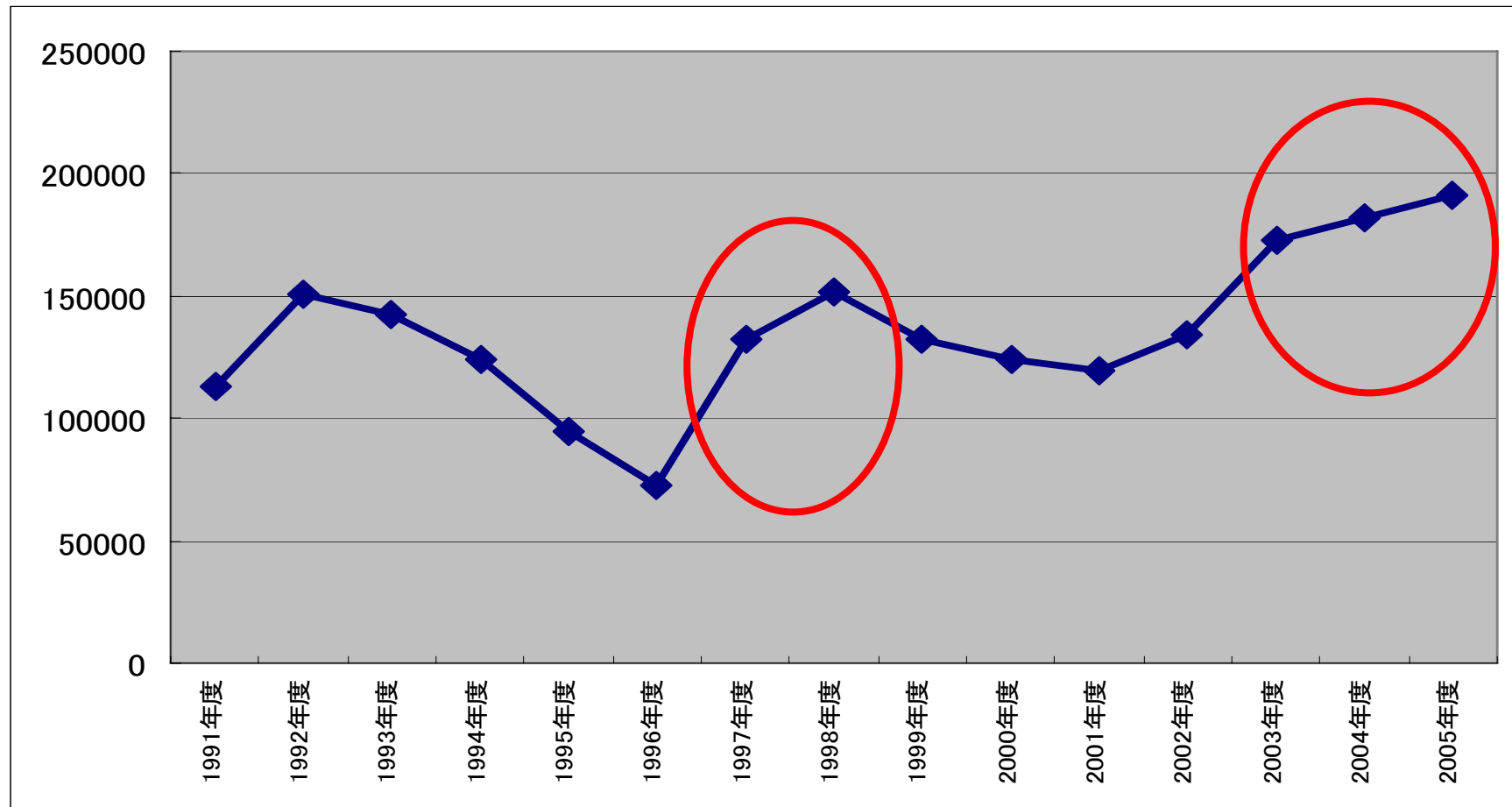


内閣府『平成18年度版経済財政白書』による

経済の状況と時代背景



経常収支の推移

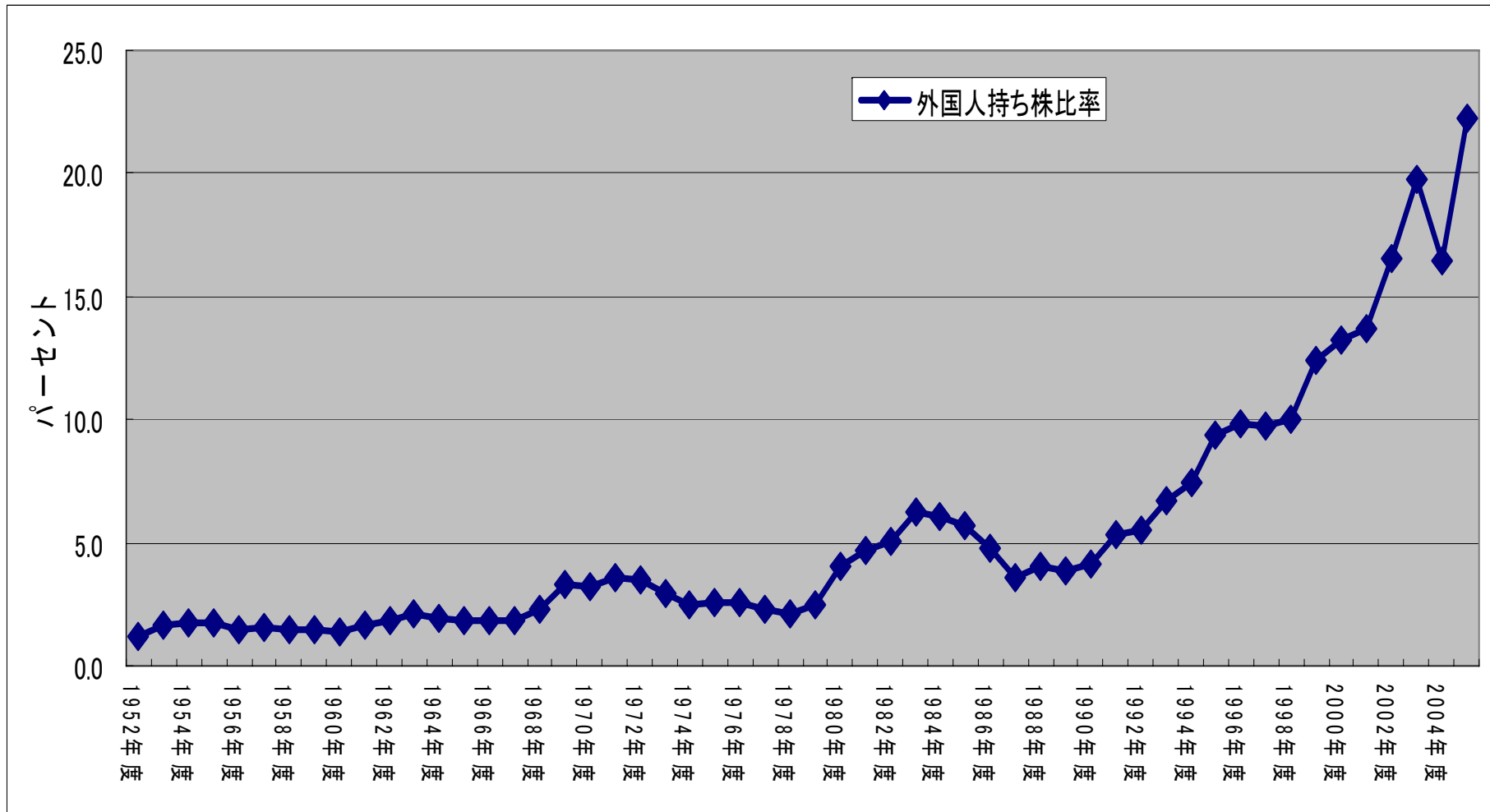


※金額の単位は、億円

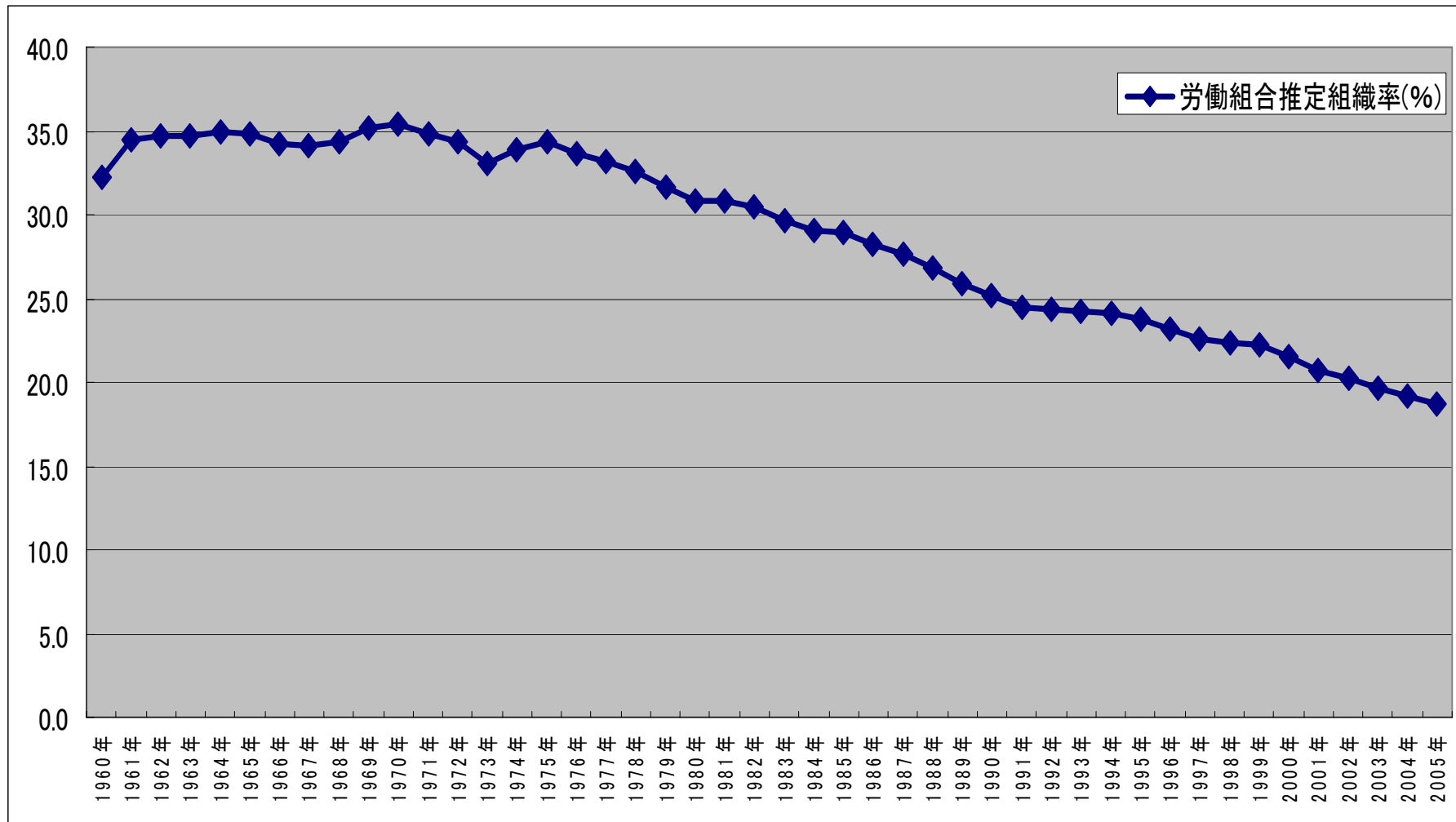
出典：財務省『国際収支の推移』最新版(2007年6月13日)

<http://www.mof.go.jp/bpoffice/bpnet.htm>

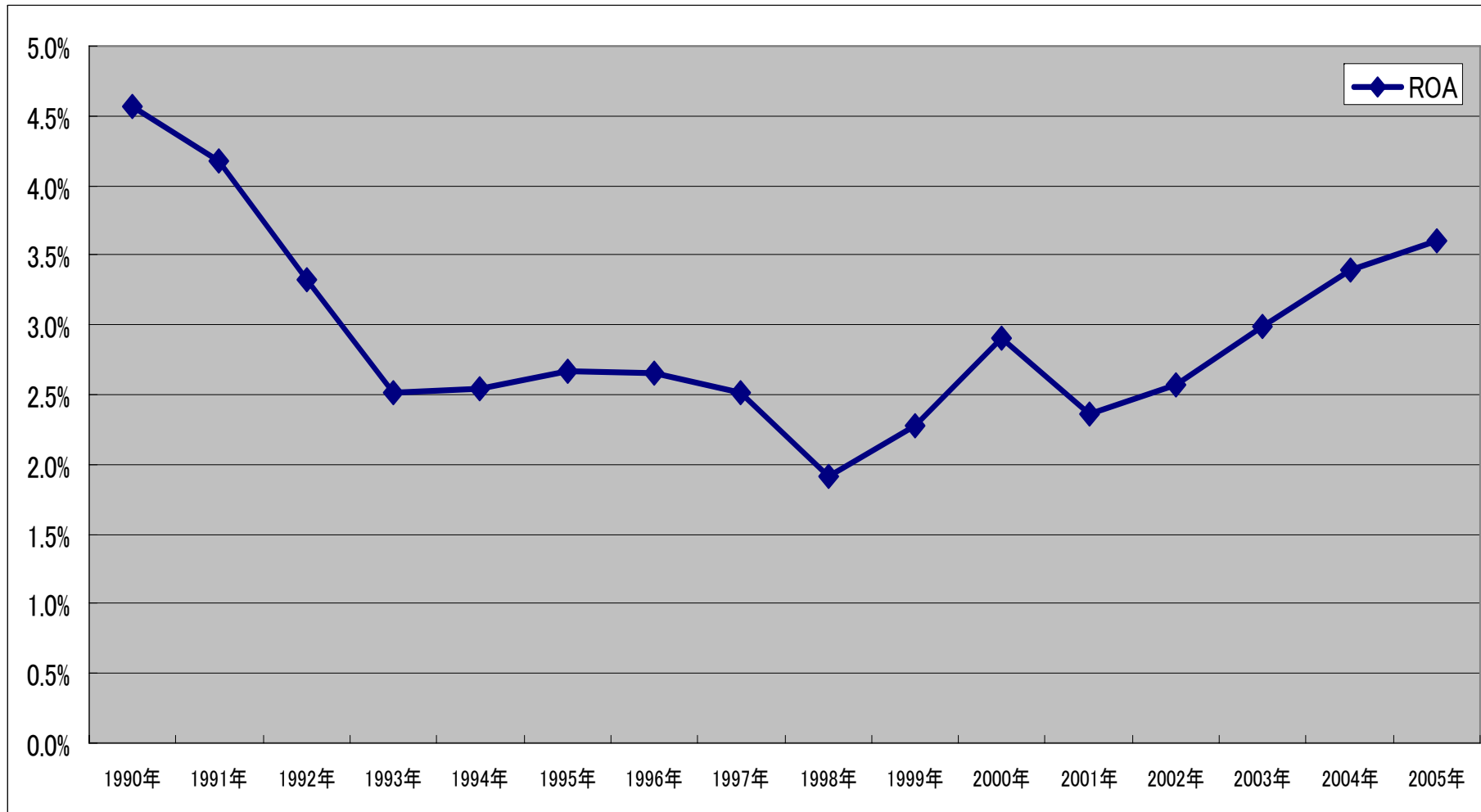
資本の国際化



労働組合の組織率も低下

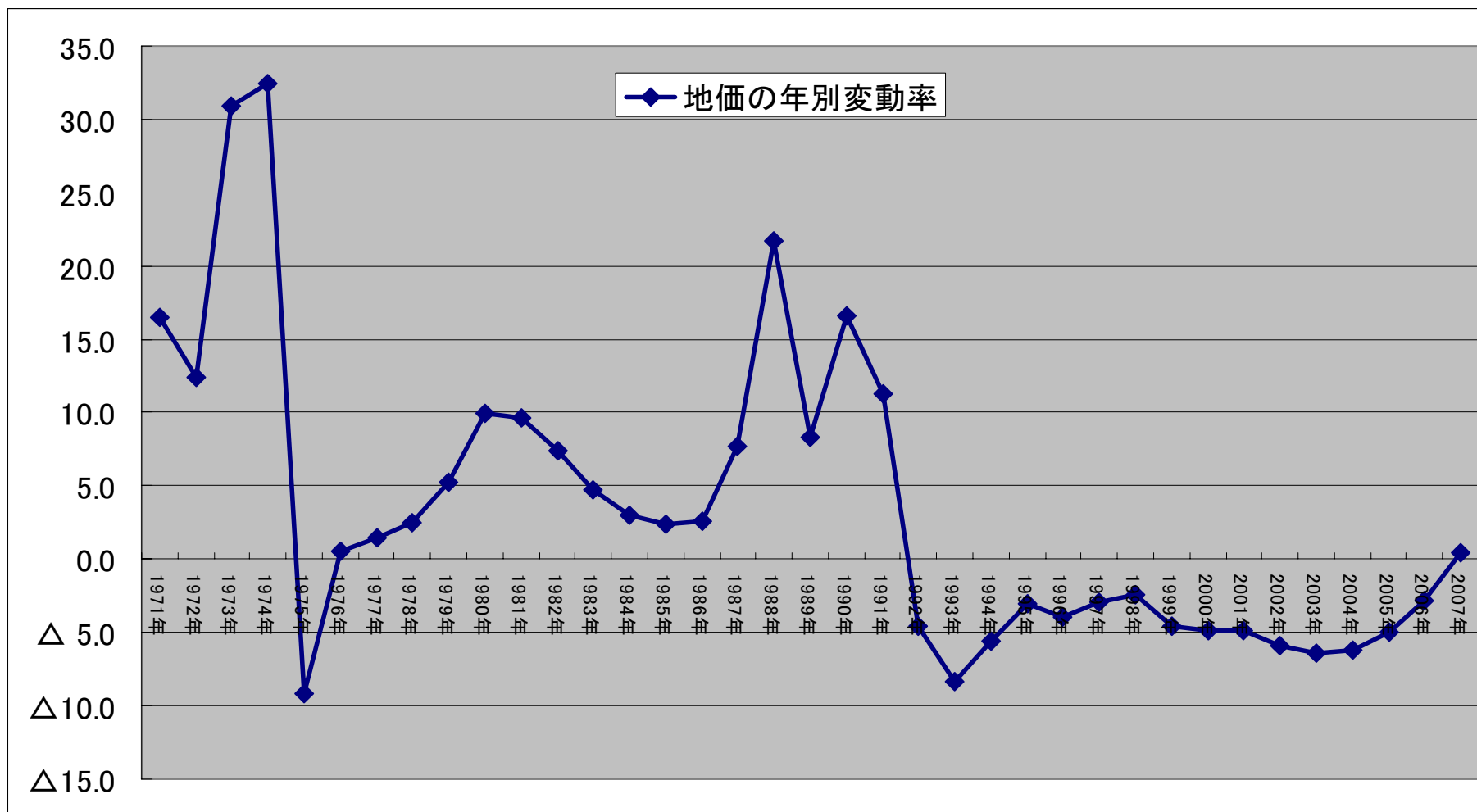


ROAは回復基調



財務省『法人企業統計季報』: ROA=営業利益(当期末)/資産合計(前期末・当期末平均)

地価は15年ぶりにプラス



国土交通省『平成19年地価公示』、全用途平均の公示価格年別変動率

知的財産戦略推進の推移

(2002)H14. 2.25	知的財産戦略会議の開催を決定
(2002)H14. 7. 3	知的財産戦略大綱を決定
(2002)H14.12. 4	知的財産基本法を公布
(2003)H15. 3. 1	知的財産基本法を施行
(2003)H15. 3. 1	知的財産戦略本部を設置
(2003)H15. 7. 8	知的財産の創造、保護及び活用に関する推進計画
(2004)H16. 5.27	知的財産推進計画2004
(2004)H16.12.16	模倣品・海賊版対策加速化パッケージ
(2005)H17. 6.10	知的財産推進計画2005
(2006)H18.6.8	知的財産推進計画2006
(2007)H19.5.31	知的財産推進計画2007

知的財産戦略本部のWEBページを基に作成
(<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/>)

首相演説における科学技術、 知的財産に関する演説の割合

総理大臣	回数	総文字数	平均文字数	該当文字数	平均該当文字数	平均割合
橋本	5	50885	10,177.0	771	154	1.52%
小淵	5	38490	7,698.0	800	160	2.08%
森	4	38229	9,557.3	3487	872	IT戦略効果 9.12%
小泉	11	87676	7,970.5	5323	484	知財立国効果 6.07%
安倍	2	17909	8,954.5	1721	861	イノベーション 効果 9.61%

出典：首相官邸のWEBページ(<http://www.kantei.go.jp>)に掲載されている演説を基に作成

参考文献

- Kay, John. (2004), Culture and Prosperity, Artellus Limited, London
- McMillan, John. (2002), Reinventing the Bazaar: A Natural History of Market, W. W. Norton & Company, Inc.
- [滝澤弘和・木村友二(2007), 『市場を創る』, NTT出版]
- Olson, Mancur. (1965), The Logic of Collective Action: Public Goods and the Theory of Groups, Harvard University Press
- Olson, Mancur. (1982), The Rise and Decline of Nations: Economic Growth, Stagflation, and Social Rigidities, Yale University Press
- Rajan, Raghuram G. and Zingales, Luigi. (2003), Saving Capitalism from the Capitalists, Crown Business.
- 上村敏之・田中宏樹編著(2006),『小泉改革とは何だったのか』,日本評論社
- 加藤創太・小林慶一郎(2007),「担保主義から情報工学へ進化する日本型金融システム」,『金融財政事情』, 2007年4月30日